アフリカ州

名前

問1　茶や装飾用切花などの一次産品を輸出し、石油製品や機械類などの工業製品を輸入する経済構造を持つ国々が、経済的な自立を目指す上で直面している課題の説明として、最も適切なものはどれですか。（2017年 愛媛県公立入試 類似）

1. 一次産品は国際価格の変動や天候の影響を受けやすく、輸出収入が不安定になりやすい。
2. 原材料を輸入して高付加価値な製品を輸出する構造のため、国内の労働賃金が高騰しやすい。
3. 高度な技術を必要とする製品を大量に輸出しているため、近隣諸国との貿易摩擦が生じやすい。
4. 輸出入の品目が多岐にわたっているため、特定の産業を重点的に育成することが難しい。

問2　アフリカ東部のケニアの首都ナイロビは、緯度で見ると赤道付近に位置していますが、年間の平均気温が15度から20度前後と、一年を通じて涼しく過ごしやすい気候となっています。このように、赤道直下に近い場所でありながら気温が低くなる理由として、地形の観点から最も適切な説明を選びなさい。（2025年 岐阜県公立入試 類似）

1. 標高が1000メートルを超える高原状の場所に位置しており、高度が高いために気温が低く抑えられるから。
2. 周辺を高い山々に囲まれた盆地であり、夜間に冷たい空気が地表付近にたまりやすい構造だから。
3. 大陸の西側を流れる寒流の影響を強く受け、海からの冷たい風が一年中吹き込んでいるから。
4. 赤道付近は上昇気流が激しいため、常に厚い雲に覆われて直射日光がほとんど届かないから。

問3　サヘル地域では、過放牧や過耕作によって土地が痩せ、砂漠化が進行しています。こうした環境の変化がこの地域の社会に与えている深刻な影響として、最も適切なものを選びなさい。（2025年 沖縄県公立入試 類似）

1. 農作物や家畜の生産が困難になることによる、慢性的な食糧不足
2. 外来種の流入による、アマゾン川流域で見られるような生態系の破壊
3. 急速な工業化の進展による、二酸化炭素の排出量増大と大気汚染
4. 主要な輸出資源である化石燃料の枯渇による、国家経済の破綻

問4　南アフリカ共和国において、かつて白人政権が、居住区を制限するなどして黒人などの白人以外の人々を不当に差別していた人種隔離政策を何といいますか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 白豪主義
2. 同化政策
3. カースト制度
4. アパルトヘイト

問5　2000年から2020年にかけてのアフリカ州における農業統計では、キャッサバなどの主要作物の生産量が大幅な伸びを見せています。この背景にある、生産量増加を実現した主な要因の説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 山形県公立入試 類似）

1. 耕作地を広げる収穫面積の拡大と、単位面積あたりの収穫量を増やす生産性の向上の両方
2. 伝統的な焼畑農業のみによる耕作面積の維持と、化学肥料の使用を一切禁止する政策
3. 収穫面積を大幅に縮小させる一方で、バイオ燃料向けの特定作物への作付け集中
4. 急激な人口減少に伴う食料余剰の発生と、先進国への輸出量の制限

問6　アフリカ大陸を北上して流れるナイル川の自然環境と人々の生活について述べた文として、正しいものはどれですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）

1. 冬季にのみ流量が急増するため、下流域の人々は冬の洪水を利用して稲作を行っている。
2. 支流が全く存在しないため、水源から河口まで水量が一定に保たれる特徴がある。
3. 年間を通じて流量の変化がほとんどないため、灌漑施設を作らなくても安定した農業が可能である。
4. 夏季に上流域で降水量が増えることで、乾燥地域である下流域に水と肥沃な土壌がもたらされる。

問7　緯線や経線に沿って引かれた直線的な国境線は、現代のアフリカにおいてどのような問題を引き起こす要因となっていますか。その影響について述べたものとして適切なものを選びなさい。（2017年 三重県公立入試 類似）

1. 地形を無視して国境を定めたことにより、国境付近での大規模な農業開発が不可能になったこと
2. 直線的な国境線は防衛が困難であるため、近隣諸国との間で軍備増強競争が過熱していること
3. ヨーロッパ諸国の言語が国をまたいで普及したことで、独自の民族文化がすべて消失したこと
4. 同一の民族が複数の国に分断されたり、敵対する民族が同じ国に共存したりすることによる紛争の発生

問8　世界地図において、アフリカ大陸の北側に広範囲にわたって分布するサハラ砂漠周辺の気候的特徴について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2018年 沖縄県公立入試 類似）

1. 高緯度の大陸東岸に位置するため、冬の寒さが厳しく針葉樹林が広がる。
2. 降水量が極めて少なく、蒸発量が降水量を上回るため、乾燥帯に分類される。
3. 赤道に近い低緯度地域であるため、一年を通じて高温多湿な熱帯雨林が広がる。
4. 季節風（モンスーン）の影響を強く受け、夏に集中的な降水が見られる。

問9　エチオピアを含むアフリカの多くの国々では、特定の農産物や鉱産資源の輸出に依存する経済構造が見られます。このような経済の仕組みと、それが抱える課題について述べた文として正しいものを選びなさい。（2026年 群馬県公立入試 類似）

1. 持続可能な経済と呼ばれ、特定の産品に特化することで環境負荷を抑えながら安定した収益を得ている。
2. 地産地消型経済と呼ばれ、自国で生産した農作物をすべて国内で消費することで、国際社会の影響を排除している。
3. モノカルチャー経済と呼ばれ、天候不順や国際価格の変動によって国の経済が不安定になりやすい。
4. 加工貿易と呼ばれ、原材料を輸入して製品を輸出するため、付加価値の高い経済発展が可能である。

問10　サバナ気候の地域における人々の生活や自然環境について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 三重県公立入試 類似）

1. 年間降水量が非常に少なく樹木が育たないため、オアシス周辺で小麦や綿花を栽培している。
2. 一年中強い日差しと激しい雨が続くため、高床式の住居で風通しを良くして暮らしている。
3. 夏は乾燥して日差しが強いため、水分を逃さない工夫をしたオリーブなどの果樹栽培が盛んである。
4. 雨季には背の高い草が茂る草原となり、乾季になると野生動物が水や食料を求めて移動する。

問11　21世紀半ばにかけての世界の人口推移を予測した統計において、2010年から2050年にかけての人口増加の割合が最も大きくなると予測されている地域はどこか、名称を答えなさい。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 北アメリカ
2. ヨーロッパ
3. アフリカ
4. 南アメリカ

問12　アフリカ大陸の中部から南部にかけて広く分布するプラチナやマンガン、クロムといった鉱産資源について、近年の世界的な需要の変化とその理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. これらは非鉄金属と呼ばれ、航空機などの軽量化を図るためのアルミニウムの原料として、先進国を中心に需要が急増している。
2. これらはレアメタル（希少金属）と呼ばれ、スマートフォンや電気自動車などの電子機器の製造に不可欠な素材であるため、急速に需要が高まっている。
3. これらは鉄鉱石と呼ばれ、工業化を進めるアフリカ諸国において鉄鋼業の主原料として大量に消費されるようになったため、需要が高まっている。
4. これらは化石燃料と呼ばれ、世界のエネルギー消費量が拡大する中で、火力発電の主要な燃料として安定した需要が続いている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 一次産品は国際価格の変動や天候の影響を受けやすく、輸出収入が不安定になりやすい。	一次産品は工業製品に比べて価格が安く設定される傾向にある（交易条件の悪化）だけでなく、生産量が天候に左右されるため、国の安定した成長を妨げる要因となります。そのため、多くの発展途上国では、特定の産品への依存から脱却するために産業の多角化や工業化が図られています。
問2	答え 1 標高が1000メートルを超える高原状の場所に位置しており、高度が高いために気温が低く抑えられるから。	ケニアのナイロビなど、アフリカ東部には標高が高い高原地帯が広がっています。一般に標高が100メートル上がるごとに気温は約0.6度下がるとされており、赤道付近であっても標高が1000メートルから2000メートルに達する地域では、年間を通じて春のような涼しい気候になります。このような気候は「高地気候」とも呼ばれ、厳しい暑さを避けることができるため、古くから都市が発達する要因となりました。
問3	答え 1 農作物や家畜の生産が困難になることによる、慢性的な食糧不足	砂漠化が進むと、農作物の栽培や家畜の飼育ができる土地が減少します。その結果、急増する人口を支えるだけの食糧を確保できなくなり、サヘル地域の国々では慢性的な食糧不足や飢餓が深刻な課題となっています。これは環境問題が人々の生存を脅かす社会問題へとつながっている事例です。
問4	答え 4 アパルトヘイト	南アフリカ共和国では、少数派の白人が多数派の黒人やアジア系の人々を法的に差別する人種隔離政策（アパルトヘイト）を長年続けていました。この政策により、居住地や公共施設の利用、結婚などが制限されていましたが、国内外の批判の高まりを受けて1991年に廃止されました。
問5	答え 1 耕作地を広げる収穫面積の拡大と、単位面積あたりの収穫量を増やす生産性の向上の両方	アフリカ州では人口増加に伴う食料需要の高まりを背景に、新たな農地を開発して「収穫面積の拡大」を進めてきました。同時に、品種改良や灌漑（かんがい）施設の整備、肥料の導入などによって、同じ広さの土地からより多くの作物を収穫できるようにする「生産性の向上」が図られたことで、面積の増加率を上回る生産量の伸びが達成されました。
問6	答え 4 夏季に上流域で降水量が増えることで、乾燥地域である下流域に水と肥沃な土壌がもたらされる。	ナイル川は、夏季に上流の熱帯地域で降る大量の雨によって流量が大きく変化する河川です。地図上で確認できる支流からの流入も、この増水に大きく寄与しています。この増水が乾燥したエジプトに恵みをもたらすことから、歴史家ヘロドトスは「エジプトはナイルのたまもの」という言葉を残しました。
問7	答え 4 同一の民族が複数の国に分断されたり、敵対する民族が同じ国に共存したりすることによる紛争の発生	植民地支配時代に引かれた人為的な国境線は、民族の居住範囲を無視したものでした。独立後、一つの国家内に複数の民族が混在したり、一つの民族が複数の国家に分断されたりしたことが、政治的不安や内戦、国境をめぐる紛争が絶えない大きな背景となっています。
問8	答え 2 降水量が極めて少なく、蒸発量が降水量を上回るため、乾燥帯に分類される。	サハラ砂漠が位置するアフリカ大陸北端から北回帰線付近にかけての地域は、一年中乾燥した空気が降りてくる亜熱帯高圧帯の影響を強く受けます。そのため、年間降水量が極端に少なく、樹木の生育が困難な乾燥帯（砂漠気候）となっています。
問9	答え 3 モノカルチャー経済と呼ばれ、天候不順や国際価格の変動によって国の経済が不安定になりやすい。	特定の農作物（エチオピアのコーヒー豆など）や資源の輸出に頼りすぎる経済をモノカルチャー経済といいます。この構造では、干ばつなどの自然災害で収穫が減ったり、国際市場での取引価格が下落したりすると、国全体の収入が激減してしまうというリスクがあります。アフリカ諸国では、産業の多角化によってこの状況から脱却することが大きな課題となっています。
問10	答え 4 雨季には背の高い草が茂る草原となり、乾季になると野生動物が水や食料を求めて移動する。	サバナ気候では、雨季に成長する丈の長い草原（サバナ）に樹木がまばらに生える景観が見られます。乾季には草が枯れ水場が減少するため、ヌーやシマウマなどの野生動物は生き延びるために大規模な移動を行います。他の選択肢は、熱帯雨林気候（高床式）、砂漠気候（オアシス農業）、地中海性気候（果樹栽培）の説明です。
問11	答え 3 アフリカ	21世紀の世界人口は増加傾向にありますが、地域によってその推移は異なります。統計上、アジアは世界最大の人口を抱える地域として推移していますが、増加の「割合」に注目すると、2010年以降はアフリカ地域が他の地域を大きく上回るペースで拡大していくと予測されています。
問12	答え 2 これらはレアメタル（希少金属）と呼ばれ、スマートフォンや電気自動車などの電子機器の製造に不可欠な素材であるため、急速に需要が高まっている。	アフリカ大陸、特に中部や南部で産出されるプラチナ、マンガン、クロムなどは、地球上の埋蔵量が少なかったり、取り出すことが難しかったりする「レアメタル（希少金属）」の一種です。これらの資源は、現代社会に欠かせないスマートフォンやパソコン、ハイブリッド車のバッテリーといった高度な電子機器の部品に利用されています。そのため、情報通信技術の発展や環境対策への関心の高まりとともに、世界中での需要が非常に高くなっています。